

# ゆざわジオパーク ジオベンチャー

ゆざわジオパークへ  
ジオモンを探しに行こう！

秋田県湯沢市は、県の最南東部にあり、山形・宮城の両県に隣接しています。直線距離で秋田市まで約70km、盛岡市まで約80km、仙台市まで約95km、山形市まで約95kmあり、東北地方の真ん中にあります。

**ゆざわジオパークのキャッチフレーズ**

いにしえの火山の恵み あつき雪  
いかして築く歴史と暮らし

湯沢市には、小野小町の伝承が色濃く残っていることから、ゆざわジオパークのキャッチフレーズを小町が得意とした和歌で表現しています。

**ゆざわジオパークのストーリー【ジオモン探し】**

私たちが住んでいる日本列島は、4枚のフレートで構成された厚い板状の岩石の上に乗っています。この4枚のフレートはお互いに組合せているため、日本列島では大地の動きを体験することができます。

ゆざわジオパークは東北地方のちょうど真ん中にあり、地球の動きで出来た日本海と奥羽山脈、対馬海流の影響で、世界でも例を見ない豪雪地帯になっています。

なぜ、こんな豪雪地帯の「ゆざわ」で、長い間人々が生活を続けてきたのでしょうか？

そのヒントは、「見えない火山」と「ゆざわの大地を守るジオモン」にありました。

ゆざわでは、過去から現在まで続く火山活動が生み出した「鉱物」や「火」「地熱」といった大地からのたくさんの恵みをいかして、この地で産業をおこし、長い間豊かに暮らしてきました。これからも、絶えず動いている大地と向き合いながら、時には大地の動きで引き起こされる災害を乗り越えて、ジオモンたちと一緒に未来に向かって歩み続けます。

さあ、みんなでゆざわの見えない火山とジオモンたちを探しに出かけましょう。

**湯沢市への交通アクセス**

湯沢市ジオパーク推進協議会事務局  
http://www.yuzawageopark.com  
TEL0183-55-8195 FAX0183-79-5057

# ゆざわジオパーク

秋田県湯沢市は、県の最南東部にあり、山形・宮城の両県に隣接しています。直線距離で秋田市まで約70km、盛岡市まで約80km、仙台市まで約95km、山形市まで約95kmあり、東北地方の真ん中にあります。

**ジオパークの見所である「ジオサイト」が市の全体に広く点在しているので、湯沢市全部が「ゆざわジオパーク」になっており、面積は790.72km<sup>2</sup>もあります。**

ゆざわジオパークを流れる川沿いには豊かな水田が広がり、山に足を踏み入れると雄大な自然林が迎えてくれるほか、湯量80km<sup>3</sup>、山形市まで約95kmあり、東北地方の真ん中にあります。

**日本のジオパーク**

2017年2月現在、43地域の日本ジオパークが日本ジオパーク委員会によって認定されています。そのうちの8地域が、世界ジオパークとして認定されています。

**ゆざわの四季の話**

ゆざわのまちは、鉱山と一緒に大きくなってきたと言葉で、特に冬に降る量の雪は、ゆざわジオパークを特徴付けるものです。ゆざわに年間に降る雪の量は、市街地でおよそ500cmにもなり、山間部ではそれ以上になります。ゆざわに住む人々は、そんな厳しい環境の中でも、自然と上手に生き抜いています。

今、私たちが生活している湯沢市の大地は、昨日今日出来たものではありません。気の遠くなるような長い年月をかけて作られ、今は私たちの足元に存在しています。

冬に降る大量の雪がゆざわの気候の大きな特徴ですが、春・夏・秋の変化が豊富な温泉地も点在しています。

四季折々で表情を変えるゆざわジオパークを巡う、大地のひみつを探してみよう！

**湯沢市への交通アクセス**

## ジオパークって何だろう？

ジオパークって、どんなところか、みなさん知っていますか？これから、じゅ小町にくわしく説明してもらいましょう。

**Q1 ジオパークって、何をするところ？**

**昔、ゆざわにあった鉱山の話**

A1 「ジオパーク(GeoPark)」は、地球や大地という意味の「ジオ(Geo)」と公園という意味の「パーク(Park)」から作られた言葉です。

ゆざわには、縄文時代の遺跡が多く残っているので、この頃から人が生活していたと考えられます。金の生産量が日本一になったことがある院内銀山など多くの鉱山の存在がゆざわの歴史と産業を形成しました。そのうちの8地域が、世界ジオパークとして認定されています。

今、あなたが踏みしめている大地は、よその大地と同じだと思うかもしれません。それが成立立ちが違います。「あなた」という人が、この世界に一人しかいないのと同じように、「湯沢市」も世界に一つだけしかありません。

ゆざわジオパークは、そんな世界に一つだけの場所が、どのようにして作られ、私たちの毎日の生活や今までの歴史・文化にどんな影響を与えているのか、五感(見る・聞く・触る・味わう・嗅ぐ)を全部使って、楽しく学ぶ場所です。

**Q2 ジオパークで大事なことは何？**

A2 ジオパークで大事なことは、ジオパークの言葉の意味を知ることではなく、実際にジオパークに足を運んで、そこでいろいろな体験をしたり、いろいろな人のお話を聞くことです。

ジオパークは地球科学を基礎とする活動なので、お話の中に難しい言葉が出てくることもあって、苦手に思うかもしれません。面白そうだからと思うところがあるはずです。そこから楽しめてしまう。

ジオパークを知ると、自分のふるさとの大地とその大地の上で育まれた人々の暮らしや伝統、文化などの良いところを再発見することができ、今まで以上に、自分のふるさとが好きになります。

**ゆざわの未来を支える地熱エネルギー**

ゆざわジオパークは、地熱資源に恵まれた場所で、小安峡大噴湯や川原毛地獄など多くの地熱活動の残り火とも言える地下深くにある高温の岩と、雨や雪などとともに未来に向かって歩み続けます。

ふるさとのことが好きになれば、よその人に自慢になります。ジオパークは、日本だけの取り組みではなく、世界中で行われている取り組みですので、世界中の人に、ふるさとのすばらしさを発信する語り部になることができます。そうすれば、毎日がドキドキ、ワクワクの連続です。

**Q3 ゆざわジオパークでは、どんなものを見ることができますか？**

A3 ゆざわジオパークでは、およそ9,700万年前にアジア大陸の地下で花崗岩が出来た時代から1万年前～現在の水の力で地形が変わった時代までの地球の動きの歴史を見ることがあります。

次のページからは、ゆざわジオパークのお話をジオモンたちと一緒に紹介しています！

## ① 火山の恵みの物語

鉱山の繁栄によって築かれた近代のゆざわ。そして、豊かな地熱資源を活用して未来に歩むゆざわの物語です。

**② あつき雪の物語**

豪雪地域にあり、雪や氷の恵みを受けて暮らしてきたゆざわの姿を見ていきましょう。

**③ 歴史と暮らしの物語**

いにしえの火山の恵みとあつき雪がもたらす豊かな水を活用して生活してきたゆざわの人々の歴史を見てみましょう。

**Q1 ジオパークコース**

**ゆざわジオパークよくぱりコース**

**Q2 ジオガイドおすすめコース**

**Q3 ゆざわの伝説**

# ゆざわジオパーク ジオベンチャー

ゆざわジオパークへジオモンを探しに行こう！

このパンフレットを読んで、ゆざわジオパークに興味がわいたら、ぜひ現地に出てきて、ジオモンを探してみよう！

**湯沢市ジオパーク推進協議会**

湯沢市ジオパーク推進協議会事務局  
http://www.yuzawageopark.com  
TEL0183-55-8195 FAX0183-79-5057